菊池雄星文化プロジェクト

第59回（2026年）岩手読書感想文コンクール応募要項

一、趣　　旨　岩手県内の児童生徒に読書の楽しみを知ってもらい、表現力や想像力などを育むことを目的として、小、中、高校生から読書感想文を募集します。

一、名　　称　菊池雄星文化プロジェクト　第59回岩手読書感想文コンクール

一、規　　定　応募対象部門の課題図書を読んで、本人が感想文を書いてください。
（高等学校の部、視覚に障害のある児童生徒は自由課題も可）
未発表の作品に限ります。
AI生成ツールを用いて作成された文章は、応募作品として認められません。

一、応募資格　岩手県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に在籍する児童生徒。

一、申し込み　①岩手日報社ホームページ内のフォームからお申し込みください。
②感想文作品は、学校単位で取りまとめ、岩手日報社へお送りください（直接持ち込みも可）。

一、締め切り　2026年９月１日（火）午後５時必着厳守。持ち込み可。
締め切りを過ぎた場合、審査対象としません。

一、送 り 先　作品は各学校で取りまとめの上、下記宛てに提出。
〒020-8622　盛岡市内丸3-7、岩手日報社コンテンツ事業部
「岩手読書感想文コンクール」係

一、　　賞　小学校低学年の部、同中学年の部、同高学年の部、中学校の部、高等学校の部とも、最優秀賞、優秀賞各１人、入選各３人。このほかに菊池雄星さんからの特別賞、学校対象の奨励賞「雄星文庫賞」があります。

各部門の受賞者には賞状、副賞などが贈られます。

一、審 査 員（８名）

絵本作家・エッセイスト	澤口　たまみ	氏
作家	大平　しおり	氏
岩手県教育委員会学校教育室主任指導主事	前川　啓太郎	氏
岩手県図書館協会長	森本　晋也	氏
岩手県教職員組合中央執行委員長	佐藤　　工	氏
岩手県高等学校教職員組合執行委員長	村上　智加子	氏
岩手日報社編集局報道センター文化部長	鈴木　多聞	氏
日報岩手書店会（東山堂参与）	湯澤　健一	氏

一、発　　表　審査結果により入賞・入選者や作品を岩手日報紙上で発表します。
①11月上旬（予定）　入賞者の氏名
②12月上旬（予定）　最優秀賞、優秀賞の受賞者の氏名・写真・作品および入賞、入選者の氏名

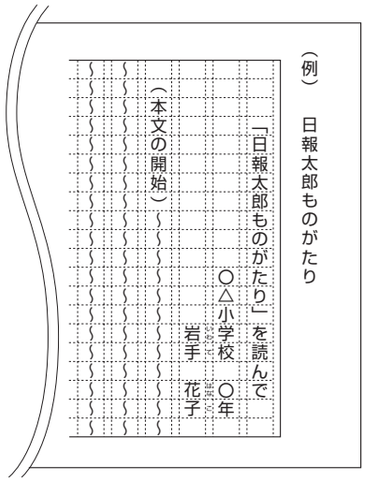
一、表 彰 式　2026年12月、盛岡市内で開催予定

【原稿用紙の使いかた】

B４サイズ、400字詰め（20×20）原稿用紙を使用。

１枚目の始め、欄外に「図書名」を明記。
１行目に「感想文の題名」
２行目に「学校名と学年」
３行目に「氏名（よみがな）」を書いてください。

※原稿用紙の枚数には、上記の１～３行目（題名、学校名・学年、氏名）を含めます。
本文のみの枚数ではありませんので、ご注意ください。



部門	枚数（規定厳守、氏名等を記入する最初の１～３行目を含む）
小学校低学年（１・２年生）	原稿用紙400字詰め　２枚以内
小学校中学年（３・４年生）	原稿用紙400字詰め　３枚以内
小学校高学年（５・６年生）	原稿用紙400字詰め　３枚以内
中学校	原稿用紙400字詰め　４枚以内
高等学校	原稿用紙400字詰め　５枚以内

※特別支援学校はそれぞれ対応する部門に応募してください。視覚に障がいのある児童生徒については別紙参照。字数などは各部門の規定に沿って応募してください。
※障がい等により原稿用紙に記入が難しい児童生徒に限り、パソコン入力による印字での応募を可とします（字数厳守）。

【その他】　応募作品は、お返ししません。
本コンクールによって集められた個人情報は審査、および主催者からの連絡以外には使用しません。入賞者の氏名、学校名、学年、作品などは主催者により、新聞紙上、その他の媒体に公表されることがあります。審査内容についての問い合わせには、一切応じられません。

主　　催　岩手日報社　日報岩手書店会

特別協力　菊池雄星

後　　援　岩手県　岩手県議会　岩手県教育委員会　岩手県市長会　岩手県町村会
岩手県図書館協会　岩手県教職員組合　岩手県高等学校教職員組合
ＩＢＣ岩手放送　岩手県学童保育連絡協議会

協　　力　岩手県小学校国語教育研究会　岩手県中学校教育研究会国語部会
岩手県高等学校教育研究会国語部会

協　　賛　課題図書出版各社　岩手県書店商業組合

※お問い合わせは、岩手日報社コンテンツ事業部まで　☎019（601）4646（平日９時～17時）